

2023

3.22 (水)

12:10  
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_1QS\\_GpzcRfO3ak8jFEASGQ](https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_1QS_GpzcRfO3ak8jFEASGQ)

【技術支援】九州大学 Q-AOS &amp; TEMDEC

# 土壌動物「トビムシ」が案内する 九大演習林

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



## Key Words

## 九州大学演習林

土壌の生物多様性

土壌動物

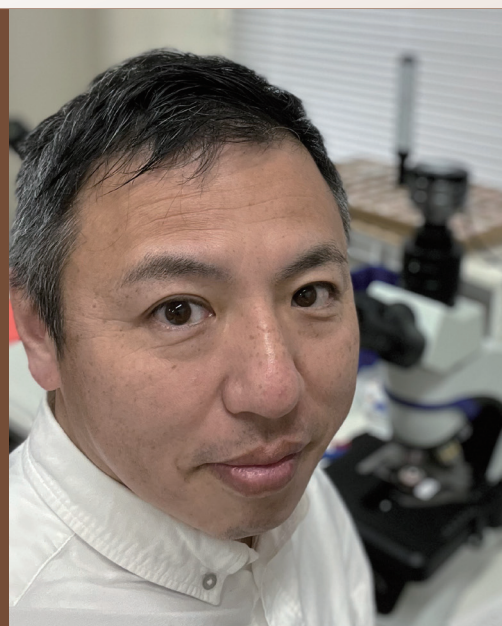
トビムシ

森林生態系の物質循環

ネットワーク研究

## 菱 拓雄 准教授

九州大学 農学研究院 環境農学部 森林環境科学



東京都の保谷市（現、西東京市）の出身です。1996年に京都大学農学部に入學、2005年に京都大学大学院農学研究科で博士（農学）の学位を取得しました。学位論文では森林の根の研究をしており、その成果によって、日本根研究会若手奨励賞を受賞しました。学位を取得したあと、京都大学で昆虫関連研究プロジェクトの研究者として土壌中の根と土壌動物の相互作用に関する研究を行いました。

2007年に縁があって九州大学農学部附属演習林に助教として赴任しました。九州大学演習林では福岡演習林に計4年、北海道演習林に4年、宮崎演習林に約6年勤務し、2020年度より福岡演習林長を拝命しています。九州大学演習林では、冷温帯から暖温帯、北方丘陵林、山岳森林、里山林という気候や社会的環境によって成り立ちの異なる森林において、現場体験に基づく実習・講義を担当してきました。

執筆については、主に土壌や生態学に関わる専門誌の論文業績が中心であり、書籍では「土の中の生き物たちの暮らし」などの一般書、「森林生態学」「森林立地」「土壌生態学入門」などの教科書で、分解者生物、特にトビムシという土壌動物の集団の成り立ちを解明する群集生態学分野について分担執筆してきました。

こうした森林環境の変化と土壌動物の集団形成のルールに関する教育・研究成果により、2019年に日本土壌動物学会研究奨励賞を受賞しました。

土壌生物は多様性が高く、陸域生態系機能の維持に重要な役割を果たしています。私は中でも特に姿かたちが多様で、陸域のどんな場所にでも生息できるため、世界中で生物多様性の比較が可能な「トビムシ」を研究対象としています。日本全国にネットワークを持つ大学演習林を基盤として、環境の変化がトビムシをはじめとする土壌動物の多様性を生み出す仕組みの解明や、土壌動物の多様性と生態系の炭素・養分循環との関係についての研究を行ってきました。発表では、小さな土壌動物「トビムシ」の多様性から、九州大学の森林がどのようにみえるのかを紹介します。